

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
3	数学	数学Ⅲ	5	G S コース数学Ⅲ選択者
教科書・副教材		NEXT 数学Ⅲ（数研出版）、教科書傍用新課程サクシード数学Ⅲ（数研出版） 新課程 クリアー数学演習Ⅲ・C〔複素数平面、式と曲線〕受験編（数研出版） 改訂版 メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕受験編（数研出版）		

科目の目標			
●科目について 数学Ⅲは、数学ⅠⅡA B Cの内容の理解が大前提になっています。その理解のもと、授業を展開していくので、既習事項の復習を必ずしておきましょう。数学Ⅲにおいて、極限→微分→積分と進んでいく内容はかなり高度なもので、教科書を読めば理解できるような簡単なものではありません。そこで授業においては、個別最適な学びを追求するために、必要な説明については解説動画を用意しています。授業時は理解できない部分をどんどん質問してください。また、豊富な演習問題を解くことによって、確実な理解を目指します。生徒の皆さんには、自分でより多くの問題を解こうとする積極的な学習姿勢を求めます。まだ、毎授業ごとに少量の課題も設定しています。授業プリントを参考に各自で取り組んでください。特に複雑な計算を伴う問題は、解答を見て満足するのではなく、必ず自分で計算する経験を積み、正解が出るまで何度もやり直しをしましょう。この一年、高3数学の中心となる数学Ⅲの授業を最後まで頑張りましょう。 ●コンピテンシーについて 教科コンピテンシーのレベル5と6の資質・能力を身につけることを目標に学習を行います。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	極限、微分法および積分法において、基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。また事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、微分法および積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	微分法および積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
評価の方法	単元テスト 定期考査 小テスト 観察等	単元テスト 定期考査 小テスト 観察等	課題 リフレクション 観察等

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学 期	2－1. 数列の極限	9	単元テスト
	2－2. 関数の極限	7	定期テスト
	3－1. 導関数	4	小テスト
	3－2. いろいろな関数の導関数	6	リフレクション
	4－1. 導関数の応用	8	課題
	4－2. いろいろな応用	5	観察等
	5－1. 不定積分	8	
2 学 期	5－2. 定積分	11	単元テスト
	5－3. 積分法の応用	10	定期テスト
	問題演習（メジアン、クリアーを用いた問題演習）	40	小テスト リフレクション 課題 観察等